

質 疑 回 答 書

平成29年 7月 6日

業者各位

青 森 市 長
(公印省略)

下記の入札に係る質疑について回答いたします。

入札番号 第 29062 号工事名 八重田浄化センター合流最終沈殿池7号改築機械工事

質 疑 番 号	図 面 番 号	質 疑 事 項	回 答
1	M-4	実施設計書 第BM-1号では、下水道用ダクタイ ル 鋳鉄管 DCIP・250A 4.54m×2箇所。テレスコー プ弁配置平面図、断面図、最終沈殿池機器配置更 新平面図では、汚泥引抜管 C250（新設）A-A詳細 断面図では、汚泥引抜管φ250～φ300となってい ます。汚泥引抜管の口径はφ250と解釈してよろし いか。	汚泥引抜管はDCIP・250Aと解釈してくださ い。
2		実施設計書 第BM-2号 小配管弁類にステンレス 鋼管 SUS304・20A（付属材料含む）、ステンレス 製ボールバルブ SUS・20A・10Kとありますが、特 記仕様書、図面にステンレス鋼管、ステンレス製 ボール弁の記載がありません。又、特記仕様書 第2章 最終沈殿池設備 第1条 最終沈殿池汚 泥掻き寄せ機 9. 付属品に、給油装置の記載がな いため、給油配管はないと思われます。ステン レス鋼管の用途をご教示願います。	ステンレス鋼管及びボール弁は、テレスコー プ弁から汚泥を引抜きやすくするため、テレ スコープ弁内部に空気を送り込むための配 管となります。
3		特記仕様書 第2章 最終沈殿池設備 第1条 最 終沈殿池汚泥掻き寄せ機 9. 付属品に、給油装置 の記載がないため、各軸受にオイルレス軸受を 使用してもよろしいですか。	各軸受については、オイルレス軸受の仕様で 問題ありません。

4	M-4 M-6	7号及び8号のテレスコープ弁が更新対象となっていますが、テレスコープ弁更新時のみ7号と同時に8号終沈も停止水抜き可能と考えてよろしいでしょうか。	テレスコープ弁更新時には、沈殿池7号と8号共に水抜きは可能です。
5		実施設計書「第BM-2号 小配管弁類」にステンレス鋼管20A×40.8m、20Aボール弁×2個とありますが、特記仕様書及び設計図に記載がありません。用途と施工箇所が屋外か屋内か、高所かについてご教示下さい。	回答2参照
6		実施設計書「第BM-4 鋼製加工品 明細表」鋼製架台類設置工の規格に、SUS304とSS+Znの記載がございます。それぞれどの機器架台であるかご教示ください。	鋼製架台類設置工のSUS304規格は、汚泥掻き寄せ機用点検架台類及びスカムボックス、グレーチング用受枠、ケーブルカバー等。SS+Zn規格は、テレスコープ弁用架台及び、テレスコープ弁用電線管類・空気配管の安全用カバーとなります。
7		「第2章 最終沈殿池設備」「第1条 最終沈殿池汚泥掻き寄せ機（メインコレクター）」「第2条 最終沈殿池汚泥掻き寄せ機（クロスコレクター）」電気設備工事は電動機端子台、トルクミット端子台の離線・結線のみとし、電線管、配線は既設を利用するものとします。	既設利用としますが、既存コレクターの電動機出力より小さくなるため、ショックリレー等の調整等は工事範囲内となります。
8		「第2章 最終沈殿池設備」「第3条 テレスコープ弁」最終沈殿池8号のテレスコープ弁更新作業中に、当該池は空に出来ると考えて宜しいでしょうか。	回答4参照
9		国交省通達より「下水道用設計標準歩掛表改定（平成29年度版）の改定」が通達されておりますが、本工事の算定は、平成27年度・28年度のどちらに準じていますか。	平成29年度版に準じております。

担当課：下水道整備課

電話：017-736-5984